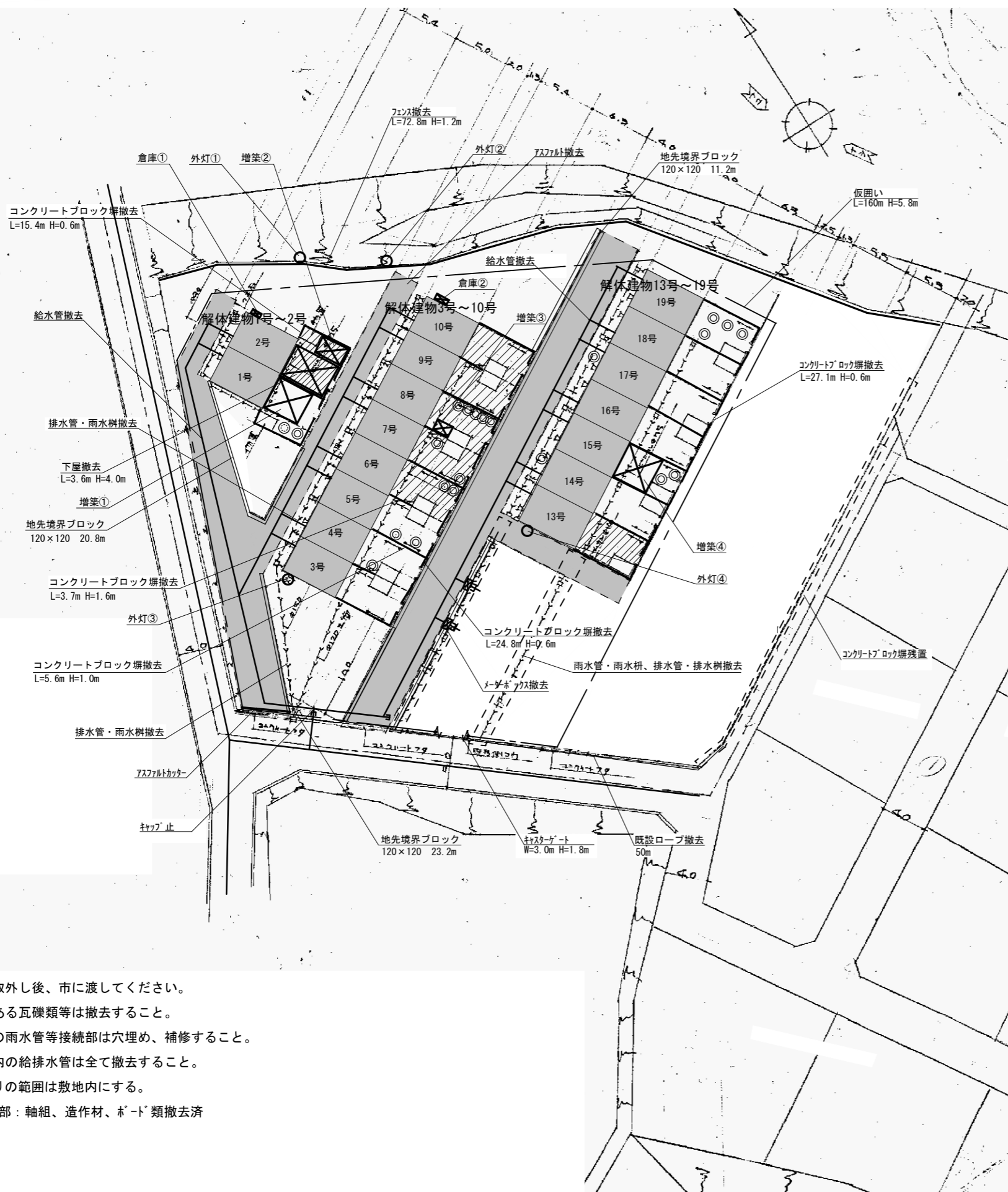


解体工事特記仕様書				項目				特記事項				項目				特記事項			
<p>1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房営繕部「建築物解体工事共通仕様書（平成31年版）」（以下、「解体共通仕様書」という）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」による。</p> <p>2. 特記仕様書の適用方法</p> <p>(1) 項目の番号に ○印の付いたものを適用する。</p> <p>(2) 特記事項に○印の付いたものを適用する</p> <p>(3) 項目に記載の表示番号は、解体共通仕様書の当該項目を示す。 特記事項について、()は解体共通仕様書の記載内容を示し、[]は解体共通仕様書以外の内容を含む。</p> <p>(4) 下線部は、解体共通仕様書に記載されている仕様を示す。</p> <p>1) 工事場所 山口県光市島田五丁目5番</p> <p>2) 解体概要 詳細は図面による</p>				<p>3 電気保安技術者 [1.3.3]</p> <p>4 事前措置 [3.2.1]</p> <p>5 技能士 [1.5.2]</p> <p>6 発生材の処理 [1.3.10]</p> <p>7 埋蔵文化財包蔵地 [1.1.12]</p>				<p>必要に応じて配置する。</p> <p>○ 工事範囲、敷地及び周辺環境、既存設備状況の確認</p> <p>○ 仮設計画図の作成</p> <p>○ とび（足場）</p> <p>引渡しを要するもの（・PCB含有機器 ・PCB含有シーリング材 ・ ）</p> <p>再資源化等を図るもの（○特定建設資材廃棄物 ・金属類 ・小型二次電池 ）</p> <p>特定建設資材廃棄物（アスファルト、コンクリート、コンクリート及びび鉄の建設資材、木材）</p> <p>重機による掘削調査等の協力が求められた場合、掘削調査について協力すること。</p>				<p>5 特別管理産業廃棄物の処理</p> <p>1 特別管理産業廃棄物等の処理等 (5.4.1)</p> <p>・PCBを含む機器類の撤去（範囲：図示による）</p> <p>・PCBシーリング材の撤去（範囲：図示による）</p> <p>・廃油の処理（範囲：図示による） 廃油を事前に回収すること。 処分方法（ ・焼却処分 ・中和処理施設で再生処理）</p> <p>・廃酸、廃アルカリの処理（・臭化リチウム ・鉛蓄電池及びアルカリ蓄電池の電解液） 処分方法（ ・中和処理 ・焼却処分 ・中和処理施設で再生処理）</p> <p>・ダイオキシン類の処理（範囲：図示による） 撤去方法：（ ） 処分方法（ ・ ）</p> <p>・廃石綿等（レベル1,2）（搬出先：最終処分場〔・安定型 ・管理型 ・遮断型〕）</p>							
				<p>2 仮設工事</p> <p>1 指定仮設物等</p> <p>2 騒音・粉じん等の対策 [2.2.1]</p> <p>3 足場等 [2.2.2]</p> <p>4 工事用水</p> <p>5 工事用電力</p> <p>6 工事看板</p> <p>7 工事現場における掲示物等</p> <p>8 監督職員事務所等 [2.3.1]</p> <p>9 山留めの撤去 (2.4.3)</p>				<p>○ 仮囲い（・成形鋼板 H=2.0m ○ 図示） ・交通誘導員（ ）人 ・敷鉄板</p> <p>○ シート（○キャストシート ・シート ・キャスト） W=3.0m H=1.8m</p> <p>○ 要（養生シート ・ 防音壁 ・ 防音囲い ○ 防音シート ○ 振動計 ○ 騒音計）</p> <p>○ 敷水 ・ その他（ ）</p> <p>○ 枠組足場 ・ くさび緊結式足場 ・ 単管本足場</p> <p>手すり先行工法に関するガイドライン別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。</p> <p>構内既存施設 ・ 利用できる（・有償 ・ 無償）○ 利用できない</p> <p>構内既存施設 ・ 利用できる（・有償 ・ 無償）○ 利用できない</p> <p>仮設計画図による。目視、設計図書、発注者から貸与した調査報告書等により石綿含有の有無を確認し、監督職員に報告すること。石綿含有の有無に関わらず、調査結果を工事現場に掲示すること。</p> <p>建設業法及び公共工事の入札及び契約の適正化に関する法律等に基づき、必要な掲示物を工事現場に掲示すること。</p> <p>(例)建設業の許可票（下請業者共）、建設業退職金共済制度加入現場ステッカー、労災保険関係成立票、施工体系図</p> <p>○ 設けない ・ 既存建築物内の一部を使用(図示) ・ 設ける（ m程度） 設置する備品等の種類及び数量は監督職員の指示による。</p> <p>鋼矢板等の抜き跡処理（・砂で充填 ・ 図示による）</p>				<p>6 石綿含有建材の除去等</p> <p>1 一般事項</p> <p>2 除去工事共通事項 [6.2.1-6.2.6]</p> <p>3 石綿含有吹付け材の除去 [6.3.1-6.3.4]</p> <p>AGバブルシステム工法</p> <p>4 石綿含有仕上塗材の除去</p> <p>5 石綿含有保温材等の除去 (6.4.1-6.4.5)</p> <p>6 石綿含有成形板等の除去 (6.5.1-6.5.5)</p> <p>7 届出書類等</p>				<p>解体共通仕様書6.1.2に記載のある関係法令等に遵守し施工を行う。</p> <p>石綿含有建材の調査報告書の貸与 ○あり ・なし</p> <p>分析調査 ・ する</p> <p>調査範囲（ ）</p> <p>分析方法 ・ JISA 1481-1による</p> <p>石綿粉じん濃度測定 (JIS K 3850-1)</p> <p>・ 行う（測定方法等は図示による） ○ 行わない</p> <p>大気汚染防止法に基づき、調査結果を監督職員に説明し、工事看板に掲示すること。 作業管理者は、石綿作業主任者又は特定化学物質等作業主任者（平成18年3月以前の修了者）</p> <p>専門工事業者は、「吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理技術」の審査証明による技術を有すること。</p> <p>石綿含有材料、含有部位、除去範囲は図示による。</p> <p>除去工法は、解体共通仕様書6.3.2による。 上記によらない場合、石綿予防規則第6条ただし書きによる粉じん飛散防止に関し隔離措置と同等の措置と判断できる工法から選定すること。</p> <p>除去工法（ ）</p> <p>飛散防止（・ 湿潤化 ・ 固形化）</p> <p>石綿含有材料、含有部位、除去範囲は図示による。</p> <p>除去工法は、石綿予防規則第6条ただし書きによる粉じん飛散防止に関し隔離措置と同等の措置と判断できる工法から選定すること。</p> <p>除去工法（ 集塵機付きディスクグラインダーケレン工法 ）</p> <p>粉塵濃度測定(環境測定員2回立会(作業中・作業後)、敷地境界測定数8点(外壁8点)報告書提出要)</p> <p>石綿含有材料、含有部位、除去範囲は図示による。</p> <p>飛散防止（・ 湿潤化 ・ 固形化）</p> <p>除去方法 ・ 原形のまま手ばらし ・ 破壊して除去</p> <p>石綿含有材料、含有部位、除去範囲は図示による。</p> <p>関係法令等に基づき、施工計画書に作業計画の作成、調査結果の掲示、届出（発注者が行う届出の代理申請含む）を行うこと。</p> <p>特定粉じん排出等作業実施届出書：保健所（工事開始14日前まで）</p> <p>「工事計画書」：管轄労働基準監督署（工事開始14日前まで）</p> <p>「建築物解体等作業届出書」：管轄労働基準監督署（工事開始前まで）</p> <p>その他必要な届出</p>			
<p>2. 移設物、残置物等</p> <p>3. インフラ状況及び廃止の手続き要否</p>				<p>3 解体施工</p> <p>1 基礎等 [3.9.1]</p> <p>2 杭の解体 [3.9.2]</p> <p>3 埋戻し、盛土及び地均し [3.13.1]</p> <p>4 舗装盤切断</p>				<p>○ 解体範囲（○地業まで解体 ・ 図示による）</p> <p>杭の解体 ・ 行う（・地下 mまで撤去 ・ 杭全長撤去）</p> <p>工法 ・ 地上引抜き工法（ ケーシングオーガー工法 ）</p> <p>・ バックホウ掘削による撤去（粉砕解体）</p> <p>解体後の埋め戻し及び盛土 ○ 行う</p> <p>整地 ○ 荒整地 ・ 真砂整地 ・ 砂利敷） 地盤高 ○ 現況GL ・ 図示）</p> <p>○ 場内残土及び購入土（基礎、地中梁） ・ 砕石ダスト水しめ（杭引抜き箇所）</p> <p>解体後の困障（・ 図示による ・ ）</p> <p>切断作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。 回収した排水を現場から搬出する場合は、搬出時点で排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。pHが12.5以上の場合には特別管理廃棄物となることに留意すること。 pHの測定方法（ ・ 携帯式簡易測定器 ・ ）</p> <p>処理施設、処理方法、運搬方法等は任意とするが、産業廃棄物の種類・取扱いについては山口県環境生活部及び下関市環境部（下関市内のみ）の取扱いに準ずること。 監督職員へマニフェストを提示する際、併せてpHの測定結果の提示を行うこと。</p>				<p>7 特殊な建設副産物の処理</p> <p>1 事前措置</p> <p>2 特殊な建設副産物の処理等 (7.3.1)</p> <p>・ フロンガス回収：第一種フロン類回収業者の登録をしている業者が現地で回収すること。</p> <p>フロン排出抑制法に基づき、対象となる設備機器の有無を確認し、監督職員へ説明すること。</p> <p>フロン類の対象機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 冷凍機の冷媒 ・ パッケージ形空調機の冷媒 ・ ルームエアコンディショナーの冷媒 <p>家電リサイクル法の対象となる設備機器は、同法に従いリサイクル(フロン類の回収を含む)を行うこと。</p>							
<p>4. PCB含有調査及び調査結果</p> <p>5. 石綿含有有無の分析調査結果 (例示)</p>				<p>4 建設廃棄物の処理</p> <p>1 建設廃棄物等の処分 [4.4.1-4.5.1]</p>				<p>○ 照明器具</p> <p>○ 済（・有 ○無）</p> <p>○ 分析結果</p> <p>○ 分析方法 ・ JISA1481-1</p> <p>○ 分析結果報告日 令和4年9月16日</p> <p>○ 分析結果 ・ 有（・レベル1 ・レベル2 ・レベル3） ・無</p> <p>○ 石綿含有の場合）</p> <p>○ 石綿含有箇所</p>				<p>建設廃棄物ごとの処分場</p> <p>○ がれき類（最終処分場 ○安定型 ・管理型 ・遮断型）</p> <p>○ ガラスくず（最終処分場 ○安定型 ・管理型 ・遮断型）</p> <p>○ 廃プラスチック類（最終処分場 ○安定型 ・管理型 ・遮断型）</p> <p>○ 塩ビ管及び継手（最終処分場 ○安定型 ・管理型 ・遮断型）</p> <p>○ 金属くず（金属回収業者又は最終処分場 ○安定型 ・管理型 ・遮断型）</p> <p>・ 建設汚泥（最終処分場〔・安定型 ・管理型 ・遮断型〕）</p> <p>・ アスファルト防水（最終処分場〔・安定型 ・管理型 ・遮断型〕）</p> <p>○ 量（最終処分場〔・安定型 ○管理型 ・遮断型〕）</p> <p>○ 石綿含有石膏ボード（最終処分場〔・安定型 ○管理型 ・遮断型〕）</p> <p>○ 石綿含有建材（レベル3）（最終処分場 ○安定型 ・管理型 ・遮断型）</p> <p>・ ALC（最終処分場〔・安定型 ・管理型 ・遮断型〕）</p> <p>・ 木毛セメント板（最終処分場〔・安定型 ・管理型 ・遮断型〕）</p> <p>○ 石膏ボード（最終処分場〔・安定型 ○管理型 ・遮断型〕）</p> <p>建設廃棄物の処分方法</p> <p>・ CCA処理木材（・焼却処分 ・管理型最終処分場で埋立処分）</p> <p>○ 蛍光灯（・中間処理施設で処理）</p>				<p>工事名称 東領家住宅解体工事</p> <p>設計番号</p> <p>意 図名 解体工事特記仕様書(1) 縮尺 ー</p> <p>図面番号</p> <p>光市役所</p> <p>号図</p> <p>年月日</p>			



凡例等

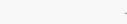

———	仮囲い(枠組本足場) L=160m, H=5.8m 防音シート張り
■	アスファルト舗装撤去 (路盤共) 424㎡
- - - -	フェンス撤去 (基礎共) L=72.8m, H=1.0m
増築①	木造: W3000*D3300*H1800 屋根: 塩ビ波板 外壁: 塩ビ波板
増築②	木造: W1200*D1200*H1800 屋根: トタン板 外壁: 3面トタン板、1面塩ビ波板
増築③	木造: W1400*D2000*H1800 屋根: トタン板 外壁: トタン板
増築④	木造: W3000*D3400*H3000 屋根: トタン板 外壁: プリント鋼板 天井: 石膏ボード 壁: ベニヤ板 床: フローリング
◎	樹木撤去
倉庫①	スチール: W1100*D2000*H2000
倉庫②	スチール: W1000*D800*H2000
▨	土間コンクリート撤去 t=50

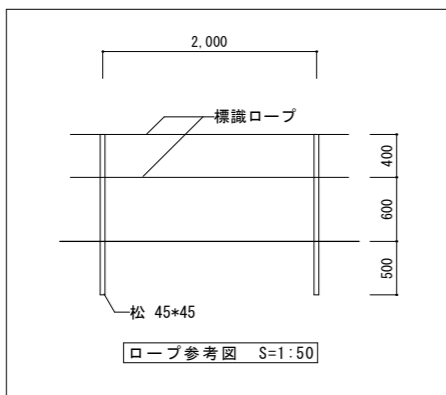
- ※外灯取外し後、市に渡してください。
- ※庭にある瓦礫等は撤去すること。
- ※側溝の雨水管等接続部は穴埋め、補修すること。
- ※敷地内の給排水管は全て撤去すること。
- ※草刈りの範囲は敷地内にする。
- ※4号内部: 軸組、造作材、ホード類撤去済

工事名称	東領家住宅解体工事		設計番号
図名	配置図	縮尺	1/300
光 市 役 所			1
			年月日
			R8



凡例等

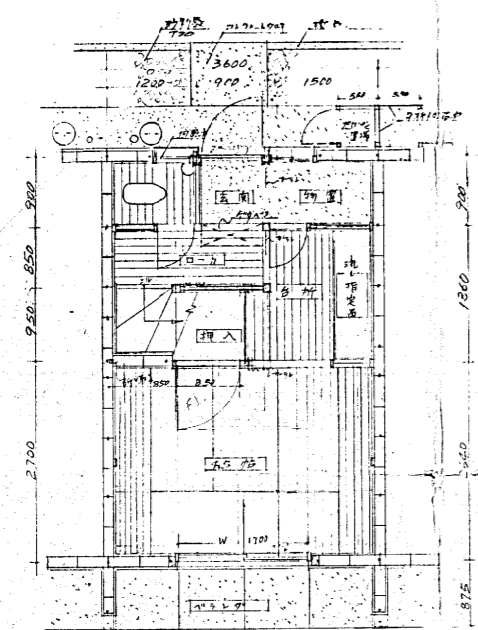
	ロープ設置
	整地範囲：不陸を均し、締め固めること 2448㎡



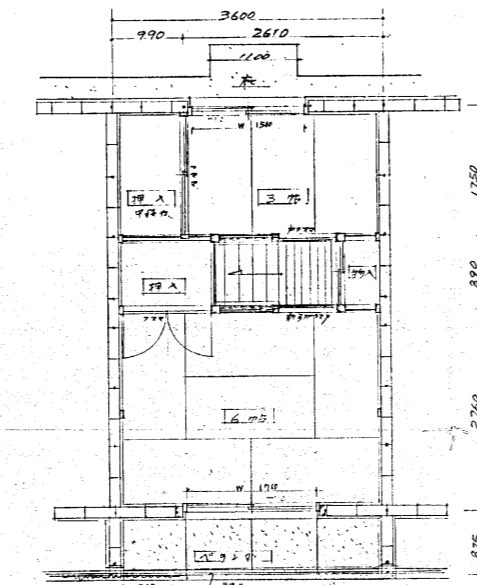
工事名称 東領家住宅解体工事		設計番号
図名 配置図（完了時）	縮尺 1/300	図面番号 2
光 市 役 所		号図 年月日 R8

1号~10号

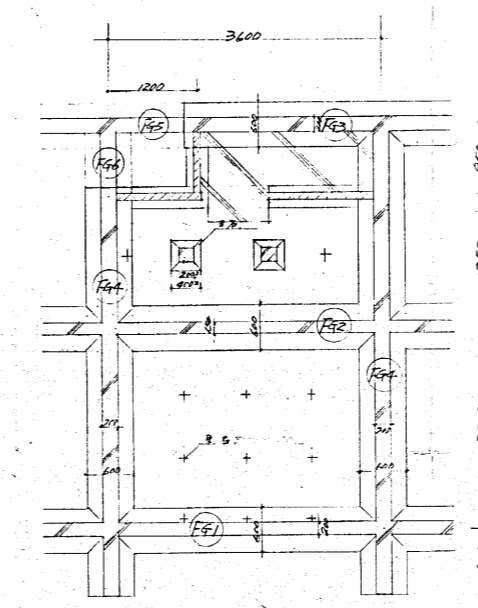
※4号内部
木軸組、造作材、ホ-ト類、
器具等撤去済
開口部ホ-トで閉鎖



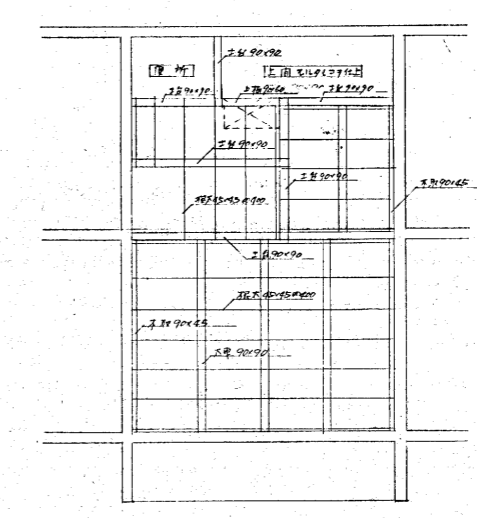
1号1階平面図



2号2階平面図



基礎平面図

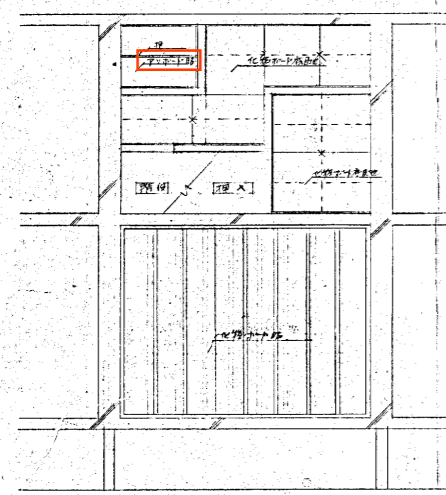


1号1階平面図

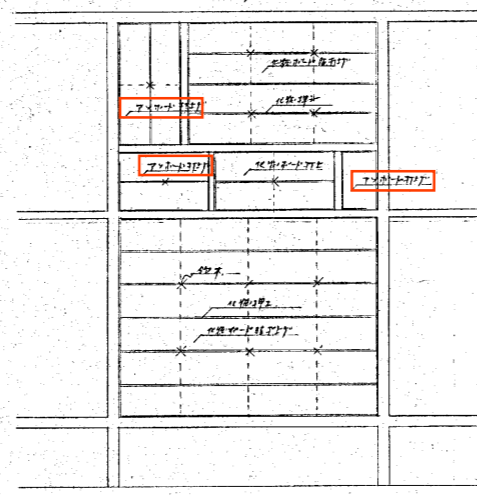
※床シート (アスベスト含有建材)
6号: 廊下、台所
9号: 廊下

面積表

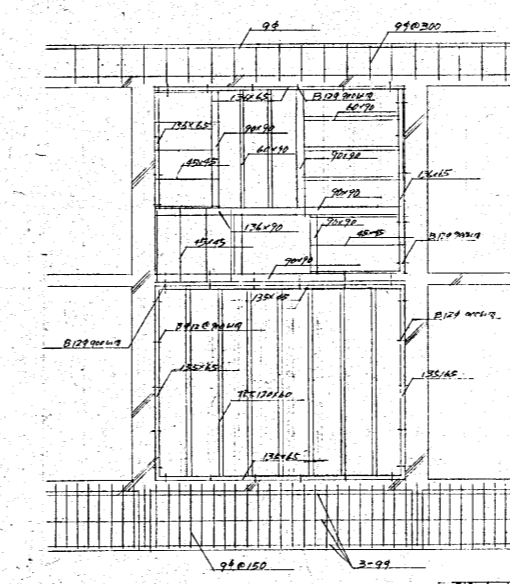
1号	17.6672
2号	17.9574
合計	35.6246



1号1階平面図



2号2階平面図



1号1階平面図

外壁仕上表

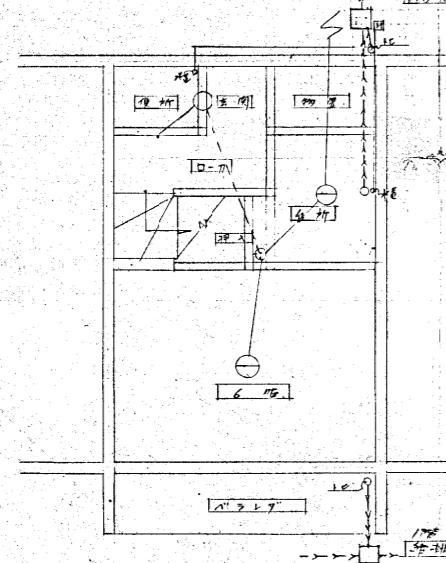
基礎	コンクリート
外壁	モルタル下地/珪藻土/セメント
ベランダ	天板防水モルタル/珪藻土/セメント
屋根	防水モルタル/珪藻土/セメント
アス?	アスベスト
上	アスベスト
物下	アスベスト
外周	アスベスト
壁木	アスベスト

※外壁リシ:アスベスト無 (分析済)

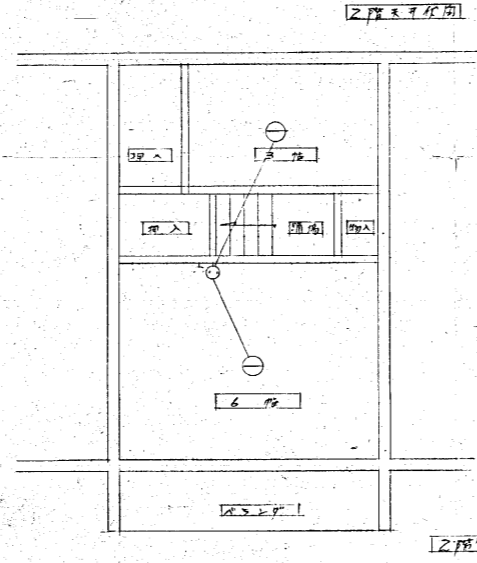
内部仕上表

部	床	巾木	障子	天井	角材
6号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
7号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
8号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
9号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
10号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
11号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
12号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
13号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
14号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
15号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
16号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
17号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
18号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
19号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土
20号	アス?	桐	シロ	珪藻土	珪藻土

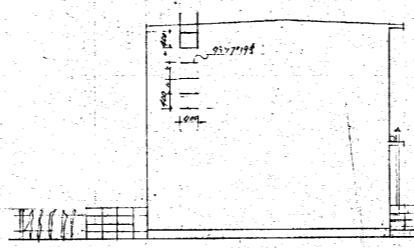
※赤枠:アスベスト含有建材 (レベル3)



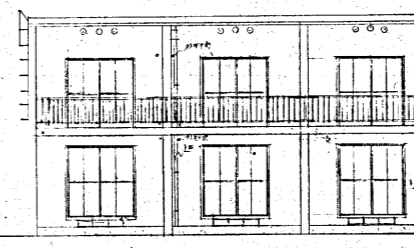
1号1階平面図



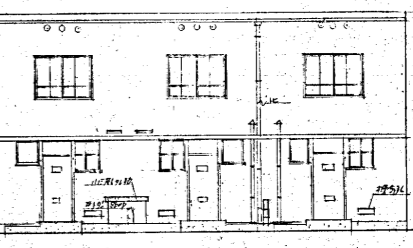
2号2階平面図



1号1階平面図

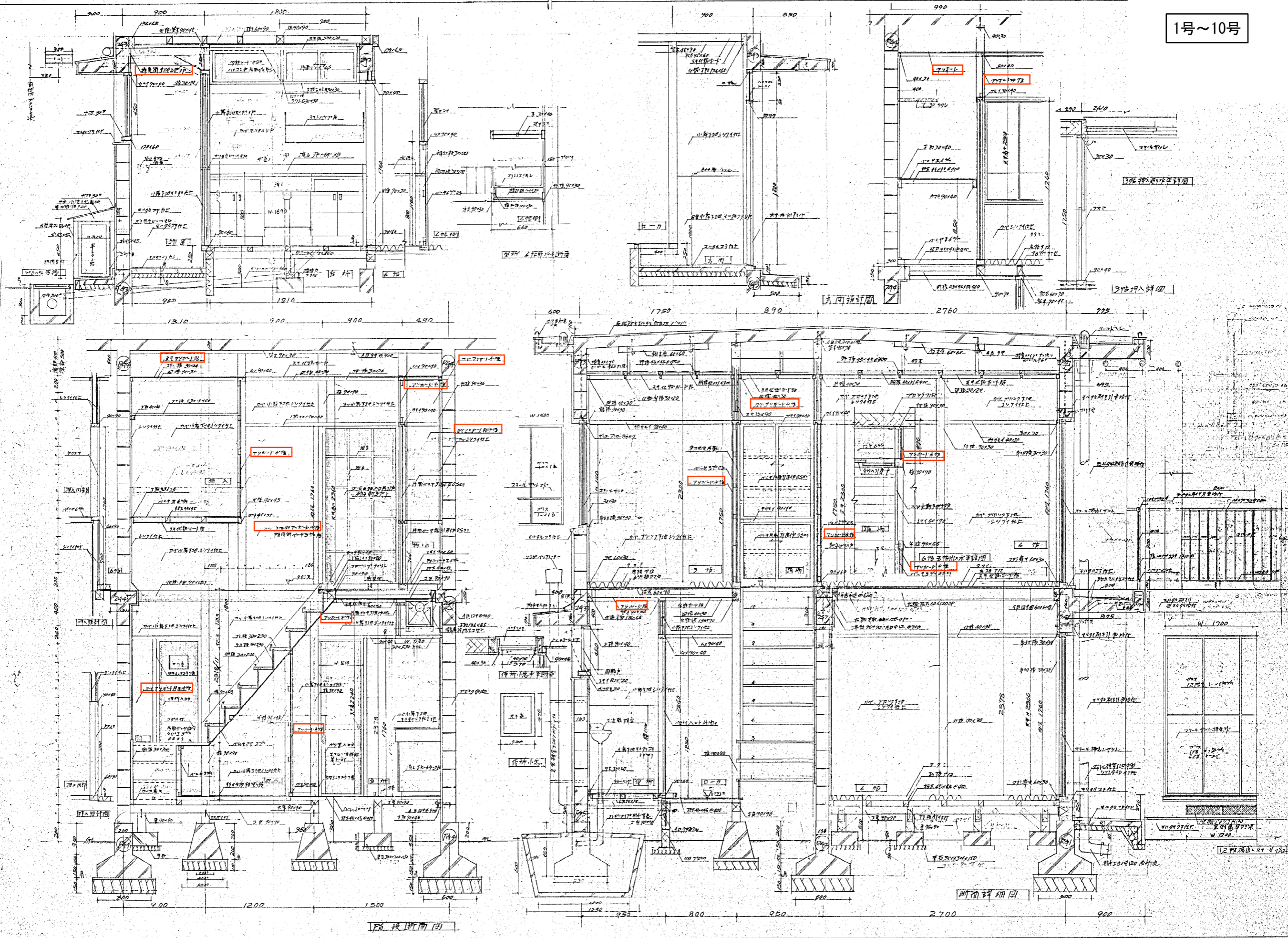


1号1階平面図



1号1階平面図

1号~10号



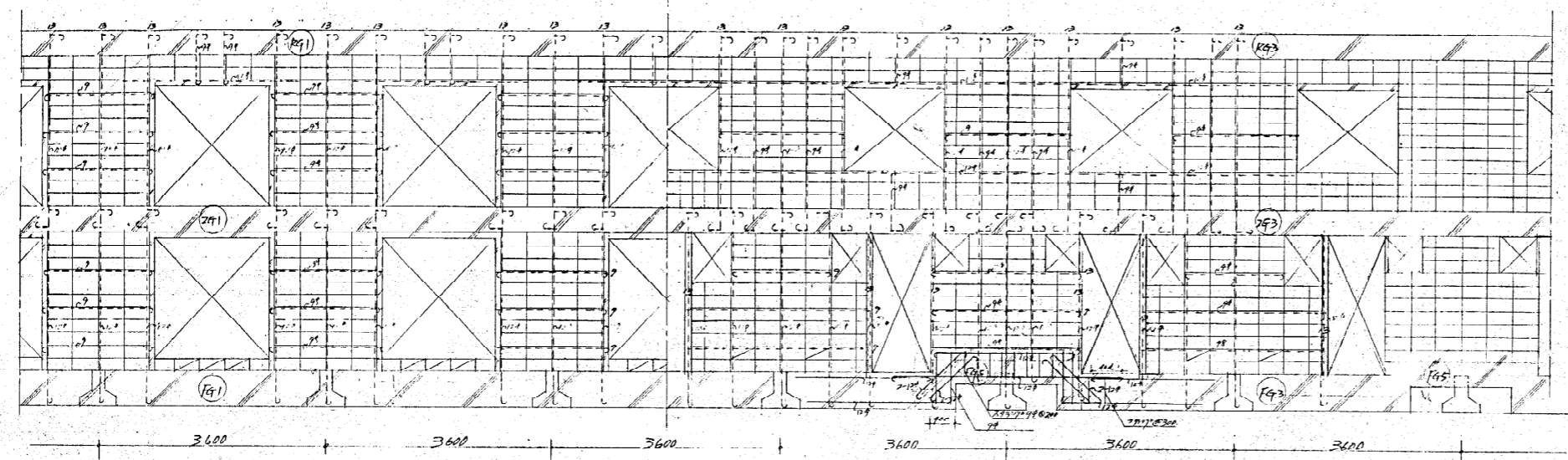
階平面図

立面図

断面図

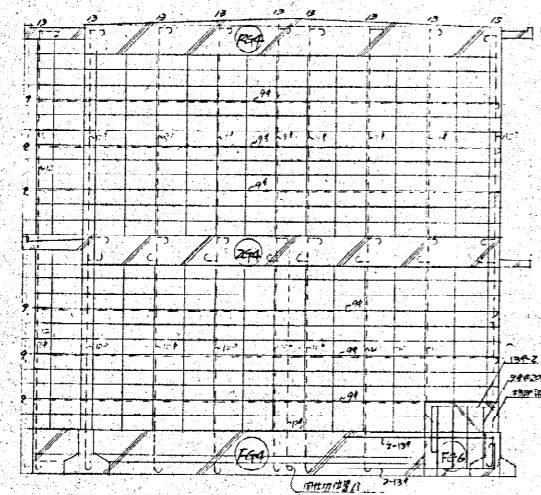
※赤枠:アス含有建材(レール)

工事名 東領家住宅解体工事 No.4

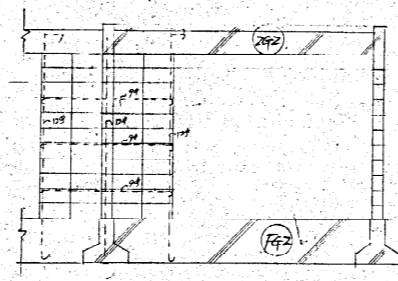


南側ラール図

北側ラール図

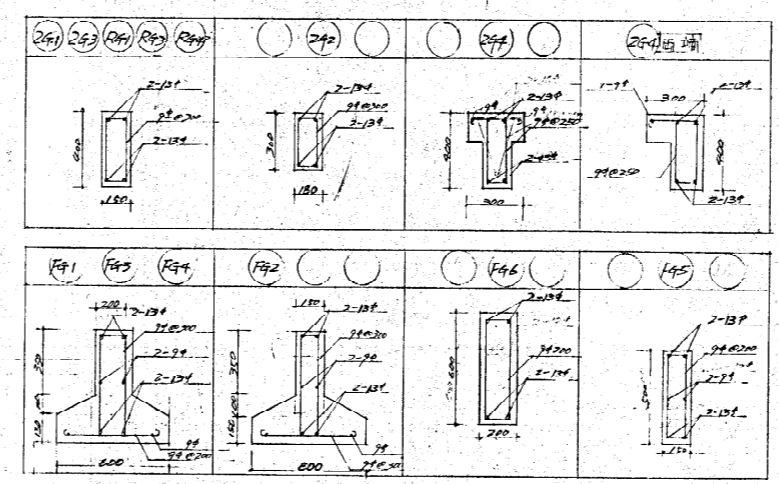


南ラール図

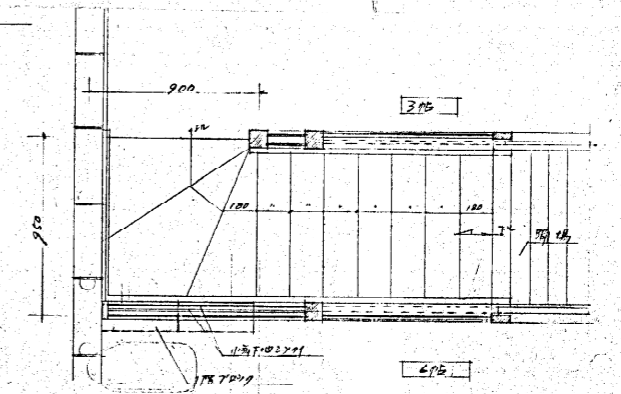


北側ラール図

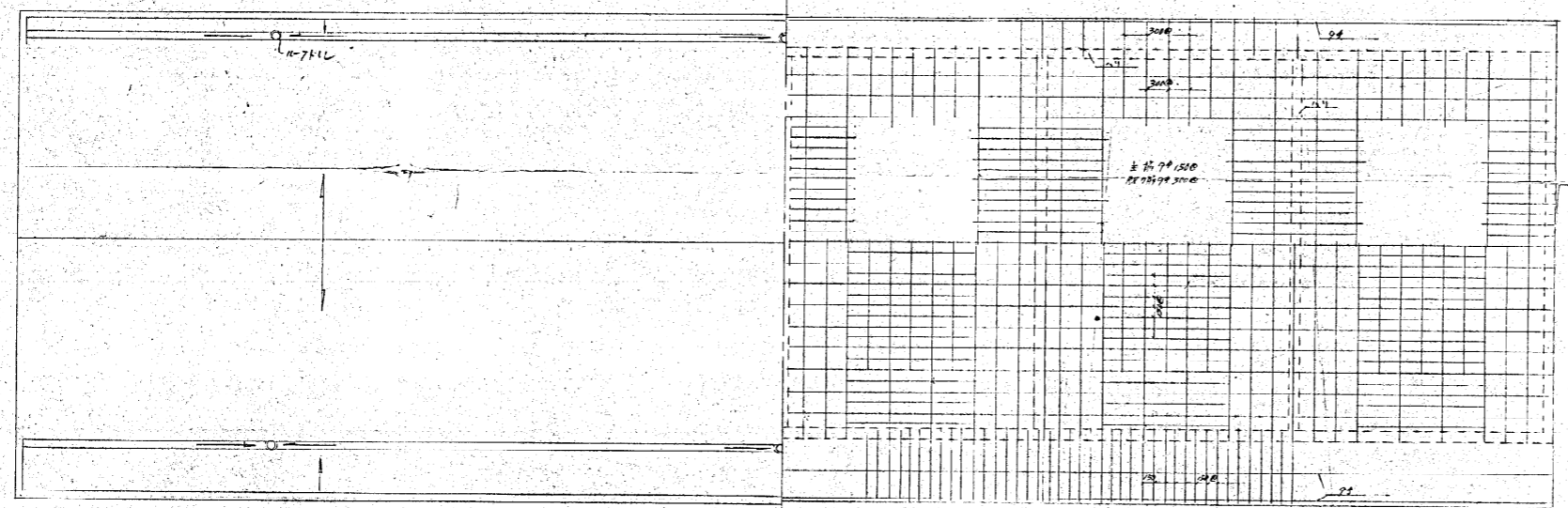
設計変更
 70x70mm 埋入鉄筋
 11.2x17.13mm 埋入鉄筋
 2.60.6.9



1.7 1.2

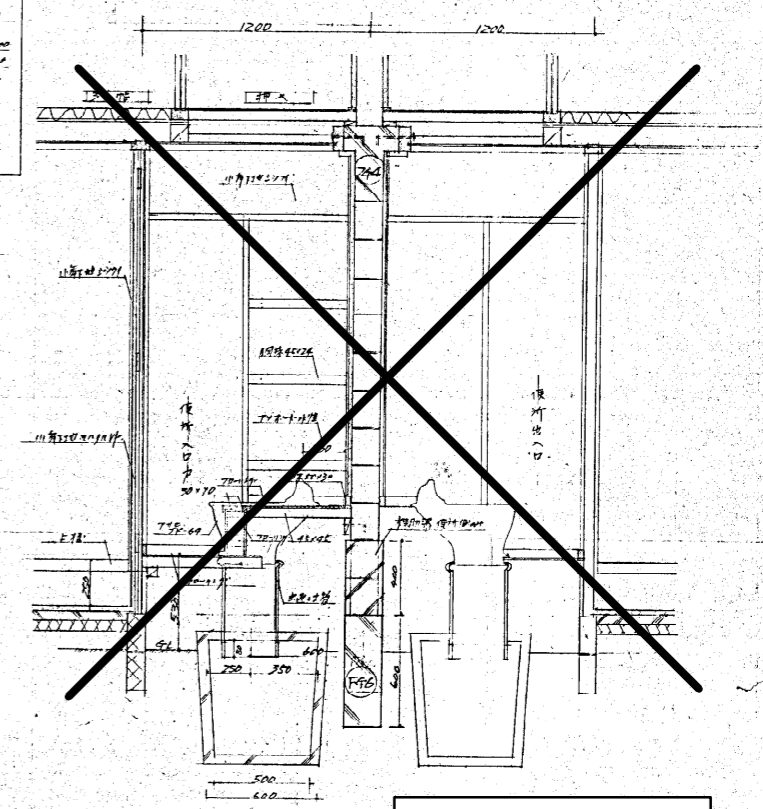


2.65 2.65

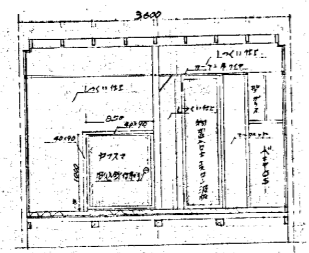


1.5 1.5

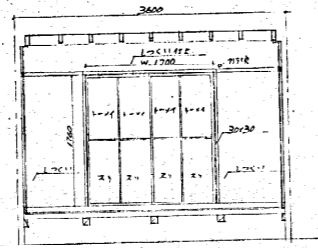
2.5 2.5



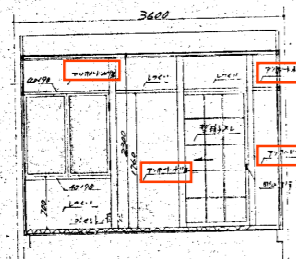
便所詳細は図16参照



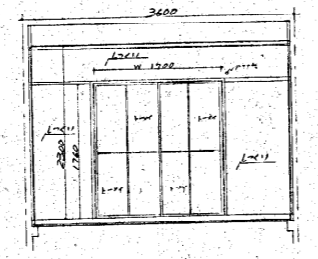
1700 6.75



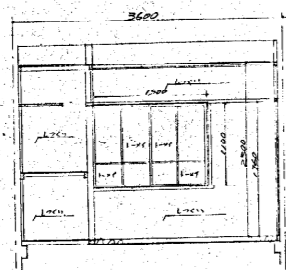
1700 6.75



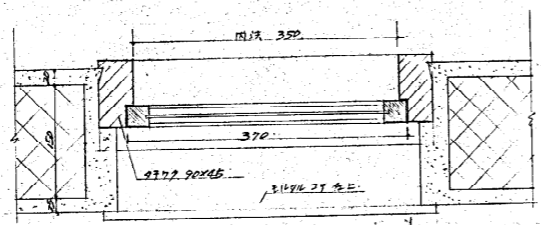
2700 6.75



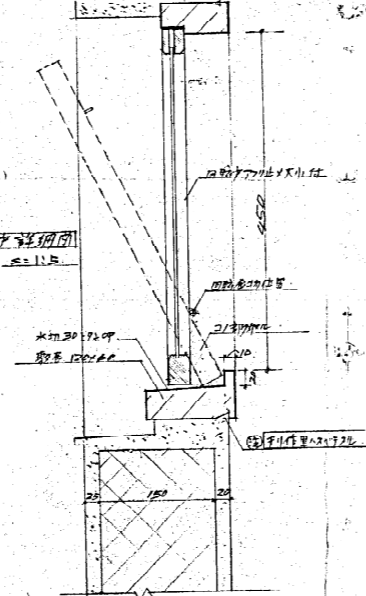
2700 6.75



3 75

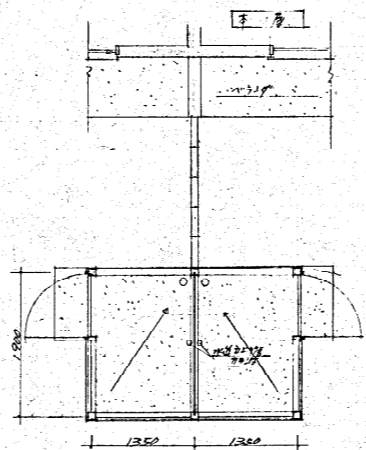


便所内物干し詳細図

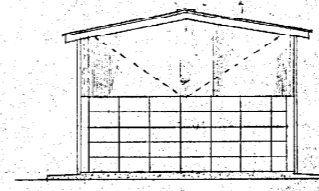


屋外浴室

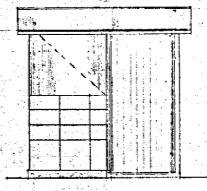
※1、2号：外壁ｱｽﾌﾞﾙ含有建材
3~10号：外壁、屋根ﾄﾝ



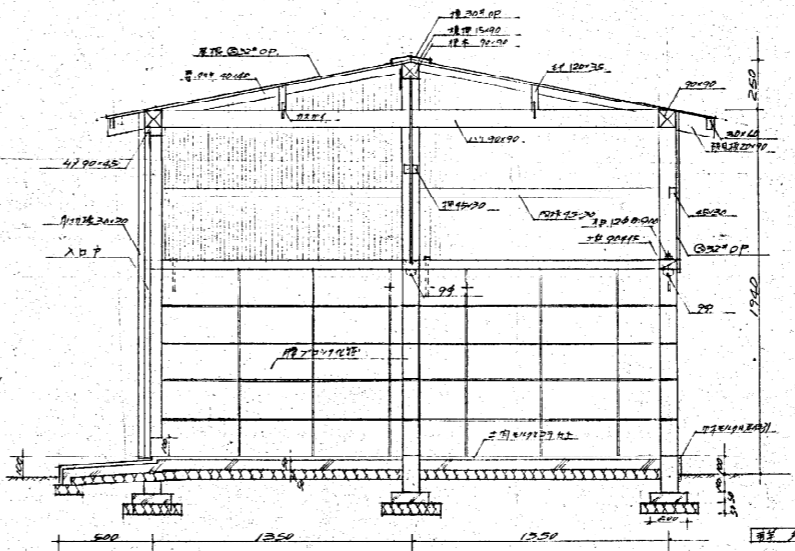
正面図 1/20



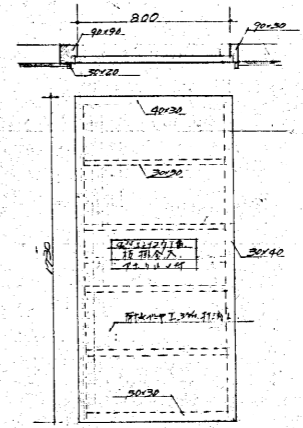
側面半図 1/1.50



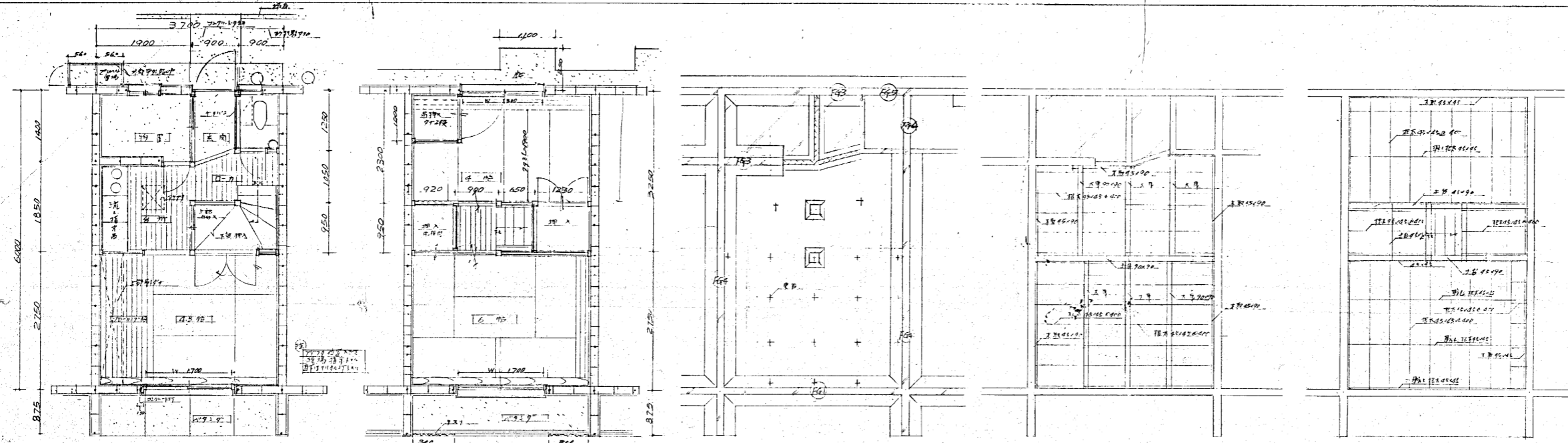
正面半図 1/1.50



断面図 1/1.20



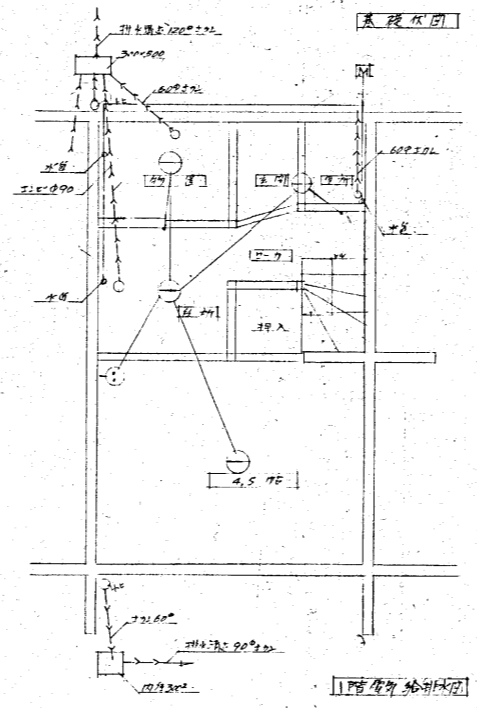
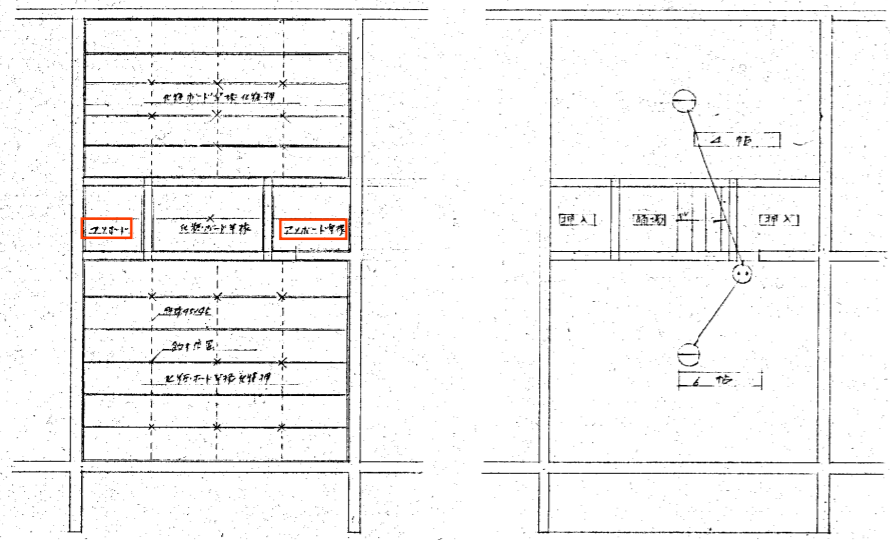
出入口詳細図 1/1.20



※床シート (アス) 含有建材
17号: 階段踊り場
19号: 廊下

面積表

1F	222.77
2F	222.77
合計	445.54



※外壁リシ: アス) 無 (分析済)

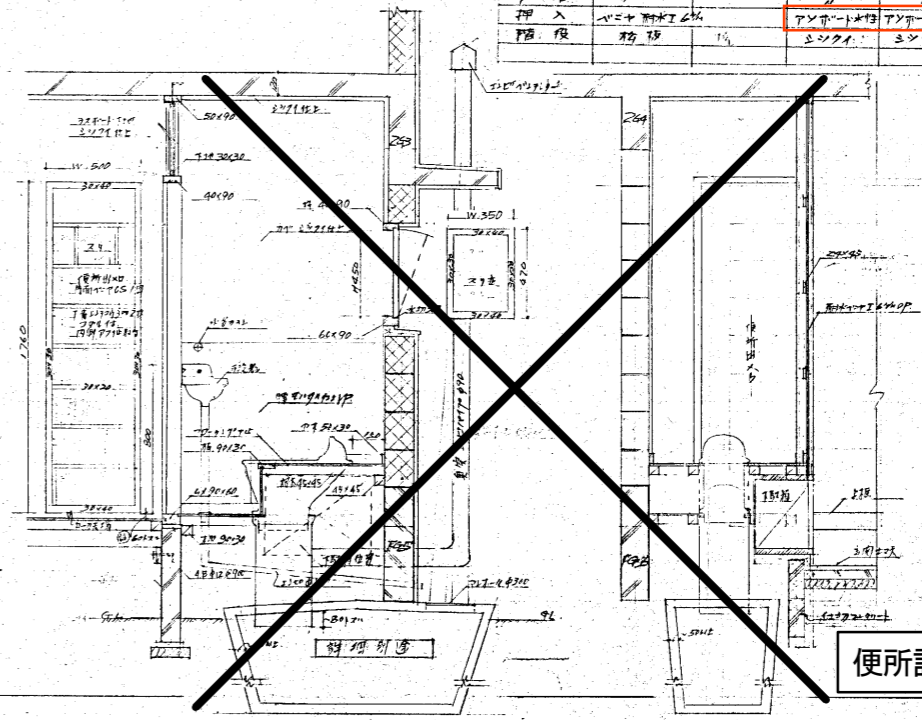
※赤枠: アス) 含有建材 (レ) L3

外部仕上表

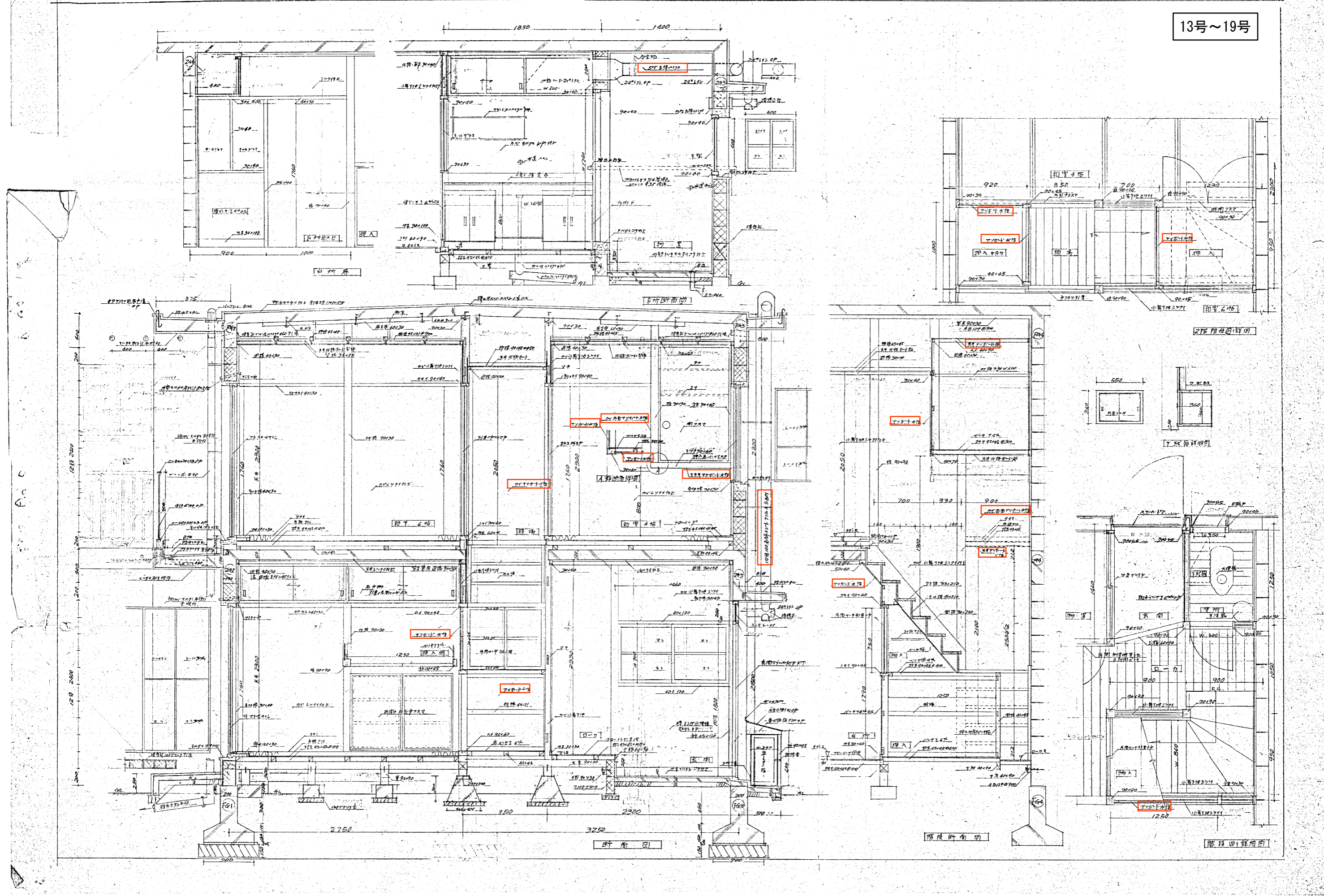
部位	仕上
外壁	200mm厚 軽量コンクリート
窓	200mm厚 軽量コンクリート
床	200mm厚 軽量コンクリート
天井	200mm厚 軽量コンクリート
内装	200mm厚 軽量コンクリート
基礎	200mm厚 軽量コンクリート
その他	200mm厚 軽量コンクリート

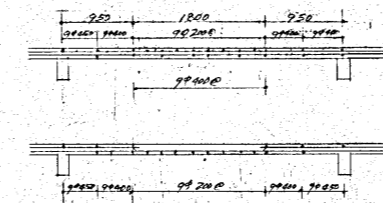
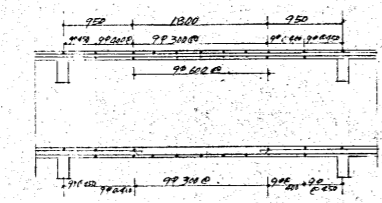
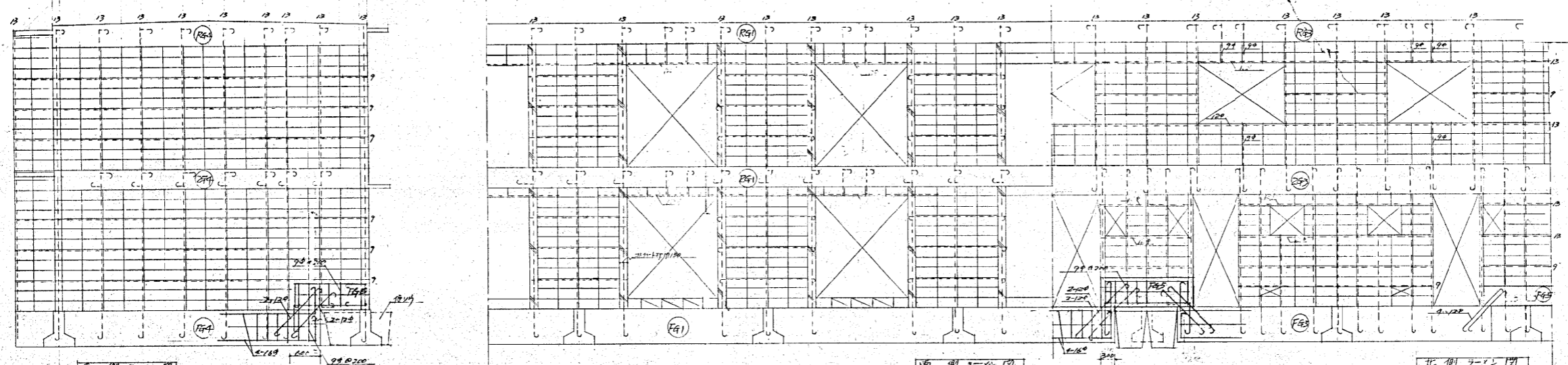
内部仕上表

部位	仕上	備考
4.5階	タタミ	
4階	タタミ	
3階	タタミ	
2階	タタミ	
1階	タタミ	
地下	タタミ	
廊下	タタミ	
階段	タタミ	
浴室	タタミ	
トイレ	タタミ	
洗面	タタミ	
キッチン	タタミ	
居室	タタミ	
玄関	タタミ	
バルコニー	タタミ	
その他	タタミ	

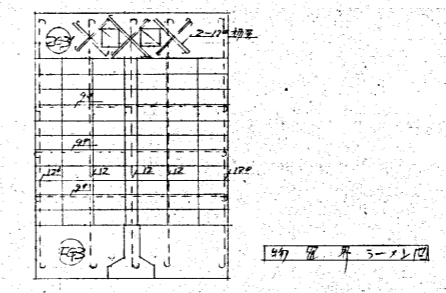
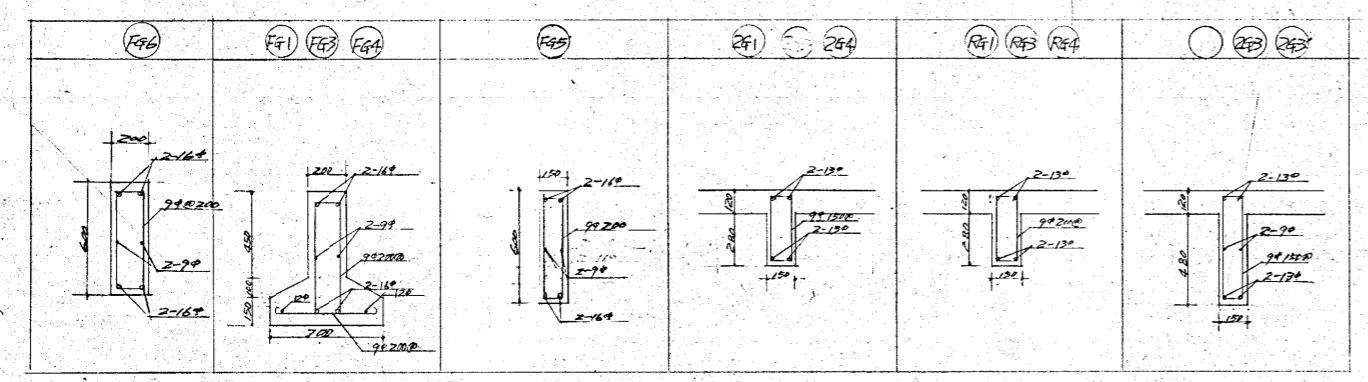
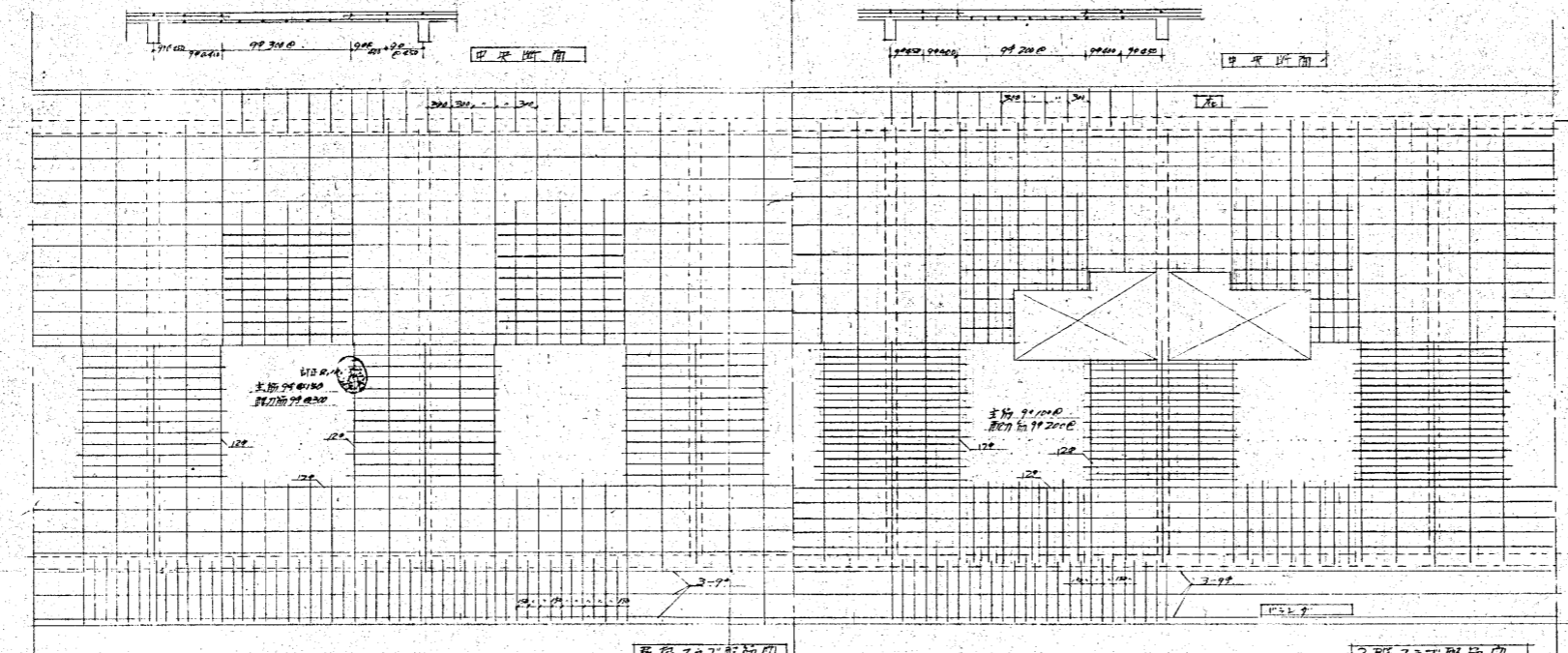
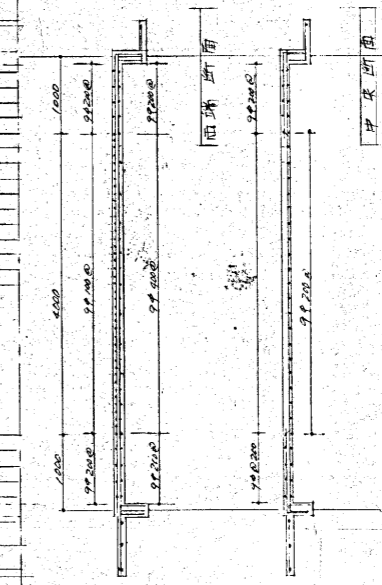
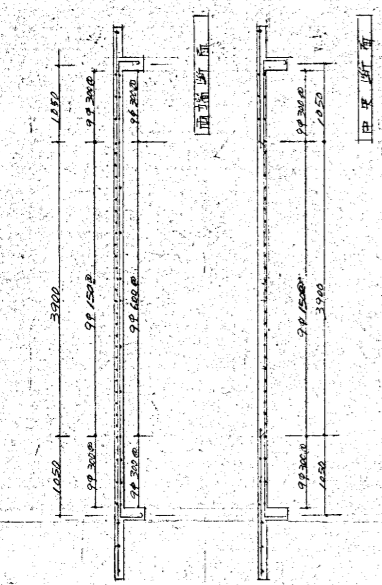
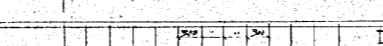


便所詳細は図15参照

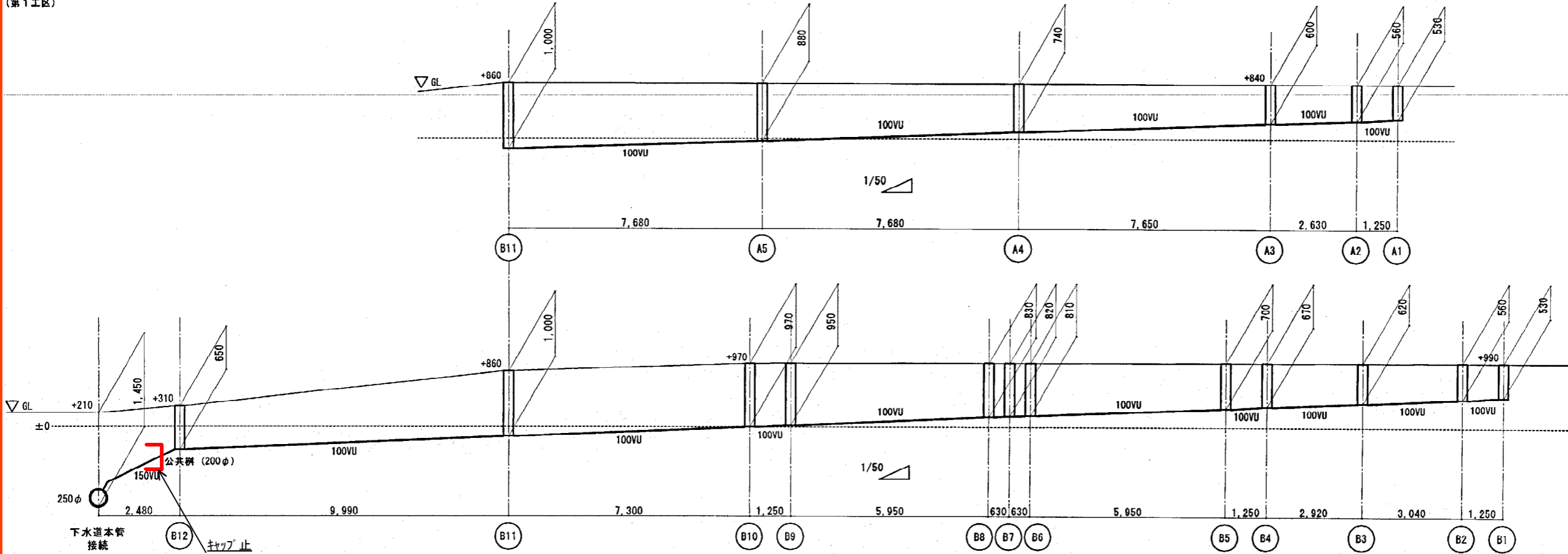




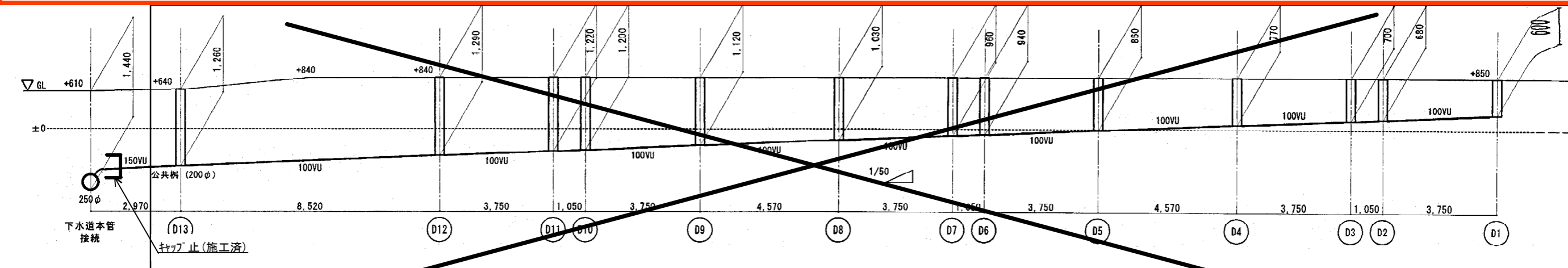
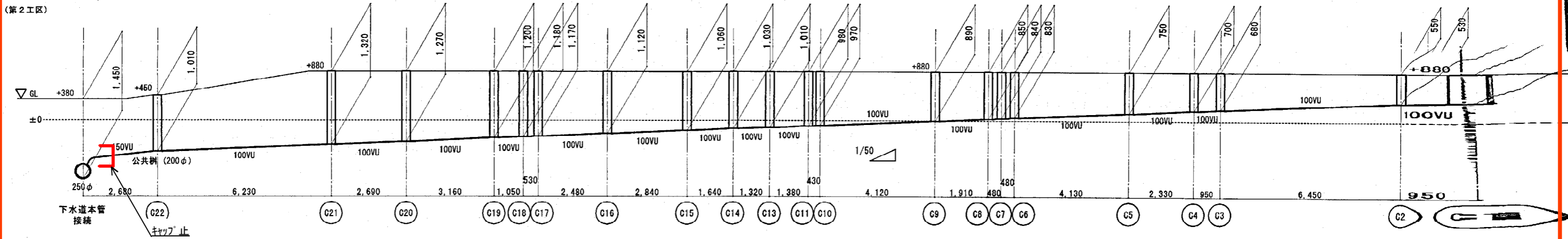
2F 2F 1.5階高 1.5F
 2F 2F 1.5階高 1.5F
 2F 2F 1.5階高 1.5F



(第1工区)

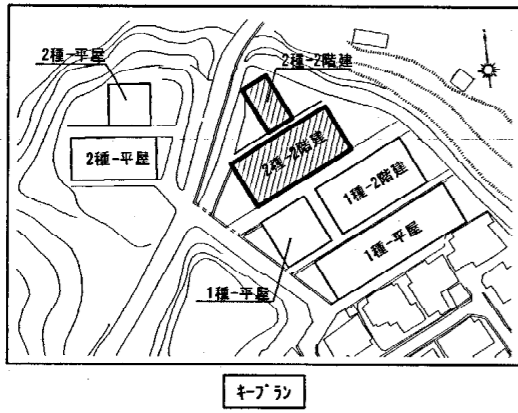


(第2工区)



撤去済

※敷地内の給排水管及び排水樹は撤去すること。

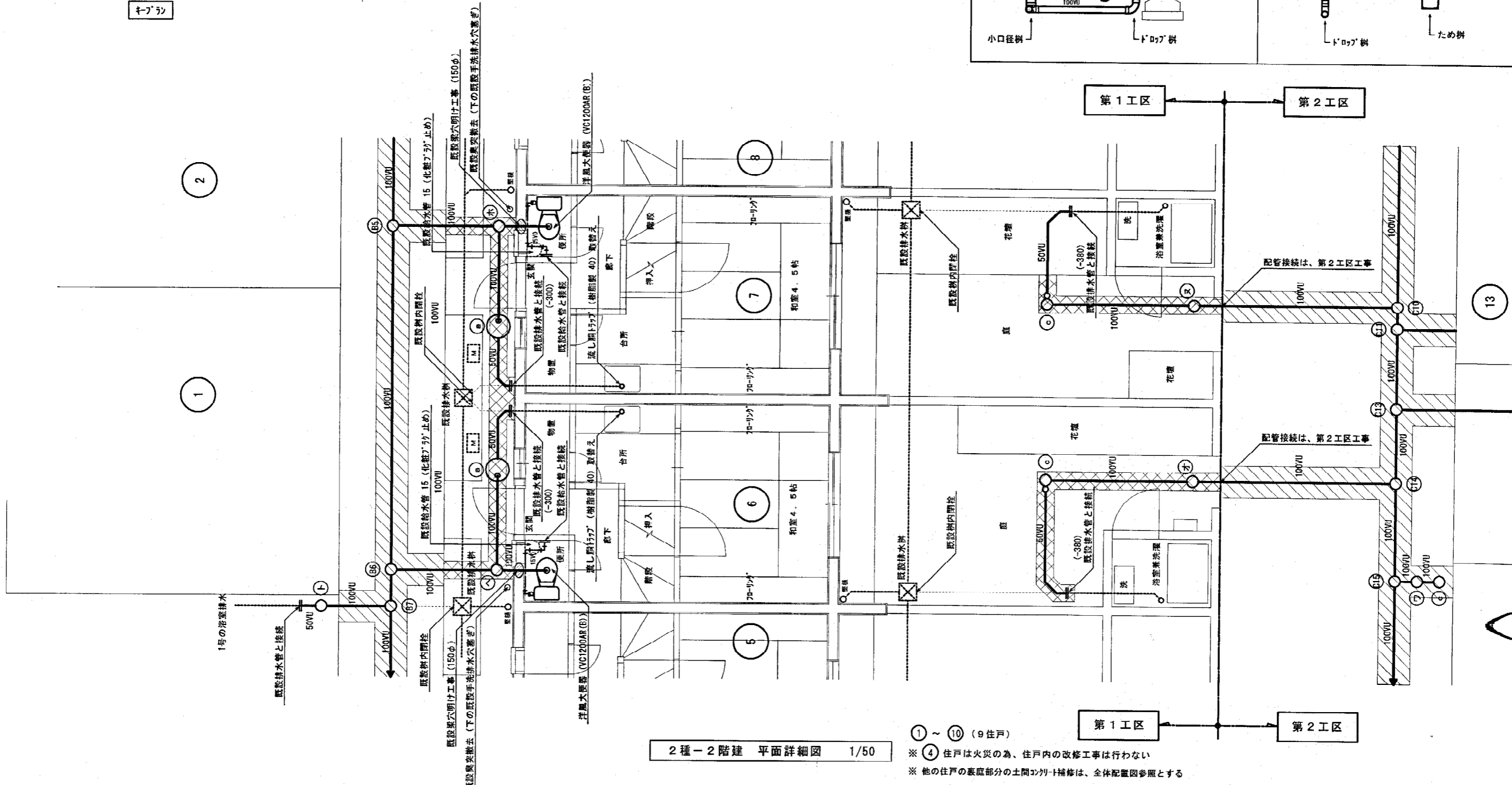
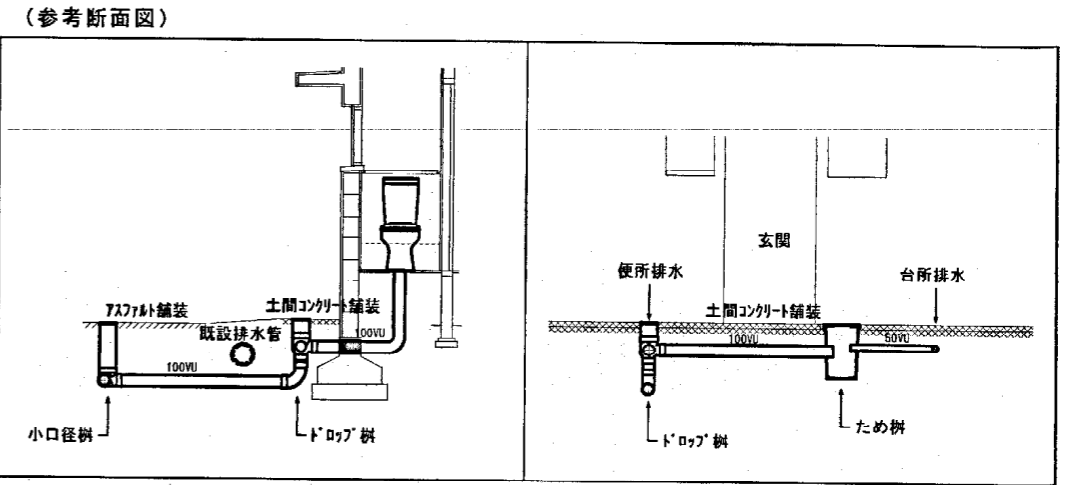


- (注記)
- 既設便槽の汚水汲取、消毒、解体、便槽埋戻は別途工事
 - 既設非水洗便器、手洗器の撤去は別途工事
 - 給水管は塩化ビニール鋼管 SGP-VD (内外面ライニング管)
 - 排水管は塩化ビニール管 VU

- (注記)
1. 既設配管を示す
新設配管を示す
 2. 土間コンクリート補修を示す
アスファルト舗装補修を示す

(樹リスト)

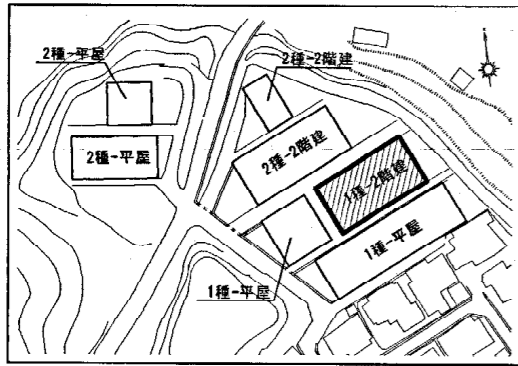
NO	名称	樹寸法	樹深さ (GL-管底)	種	備考
a	ため樹	300φ	258~305	シソノ木	ホリドリロシ製バケ型 下流トラップ
c	インポート樹	100φ-150φ	400	塩ビ製密閉蓋 150φ	トラップ付 UTK (100x50S-150) (掃除口付)



2種-2階建 平面詳細図 1/50

- ① ~ ⑩ (9住戸)
- ※ ④ 住戸は火災の為、住戸内の改修工事は行わない
- ※ 他の住戸の基礎部分の土間コンクリート補修は、全体配置図参照とする

※敷地内の給排水管及び排水樹は撤去すること。



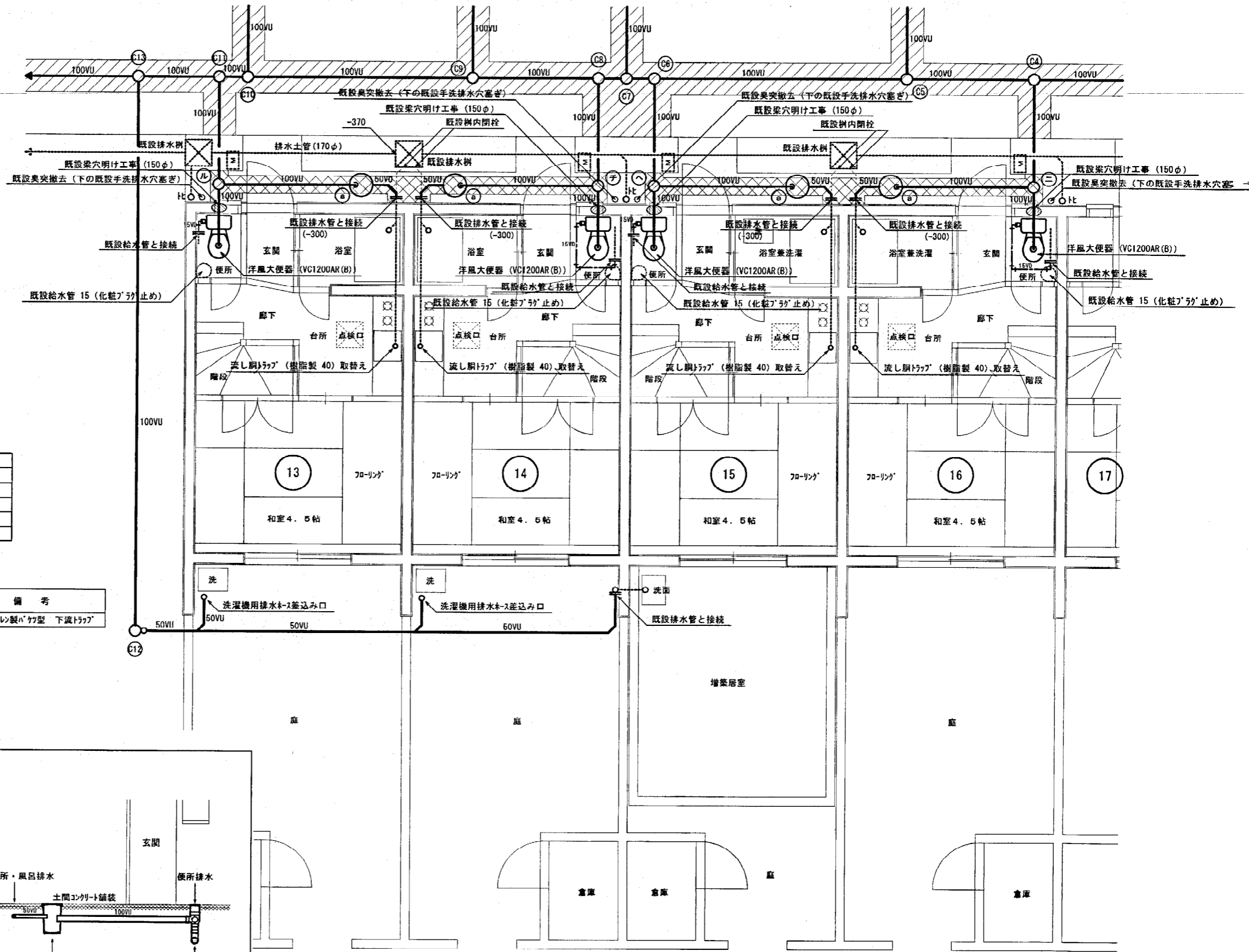
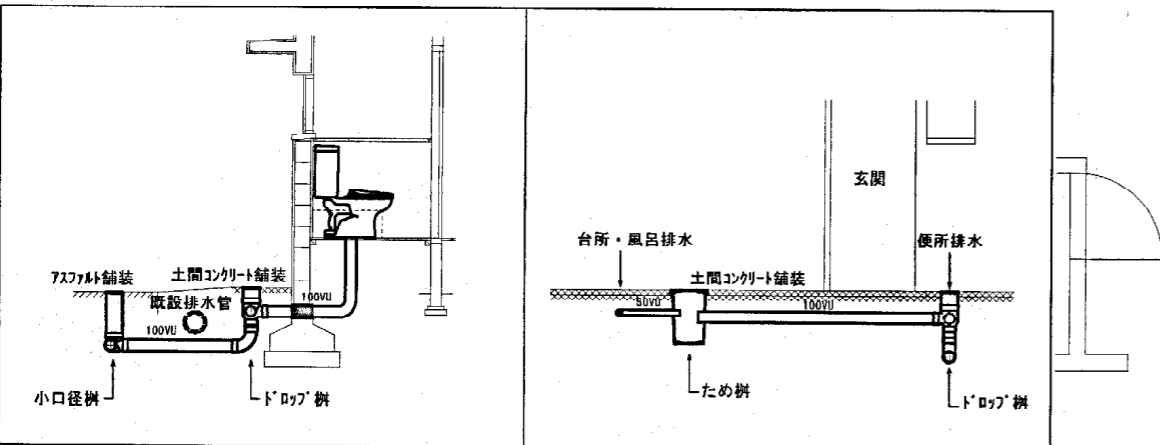
- (注記)
- ・ 既設便槽の汚水汲取、消毒、解体、便槽埋戻は別途工事
 - ・ 既設非水洗便器、手洗器の撤去は別途工事
 - ・ 給水管は塩化ビニル鋼管 SGP-VD(内外面ライニング管)
 - ・ 排水管は塩化ビニル管 VU

- (注記)
1. 既設配管を示す
新設配管を示す
 2. 土間コンクリート補修を示す
アスファルト舗装補修を示す

(樹リスト)

NO	名称	樹寸法	樹深さ (GL-管底)	蓋	備考
a	ため樹	300φ	258~305	レソコ蓋	ホリブドリ製ハケ型 下流トラップ

(参考断面図)



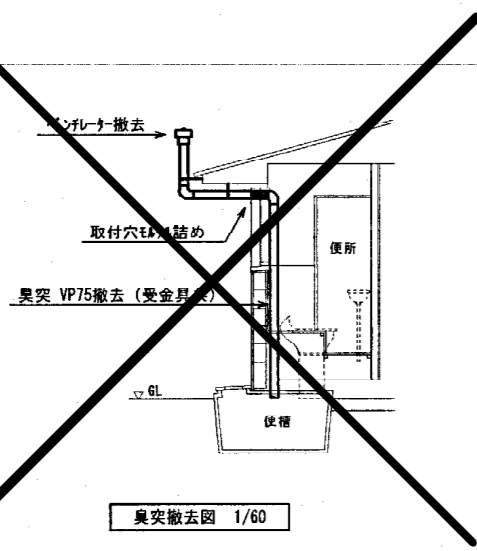
1種-2階建 平面詳細図 1/50

⑬ ~ ⑰ (7住戸)

※敷地内の給排水管及び排水樹は撤去すること。

(第2工区)

(1種 平屋)

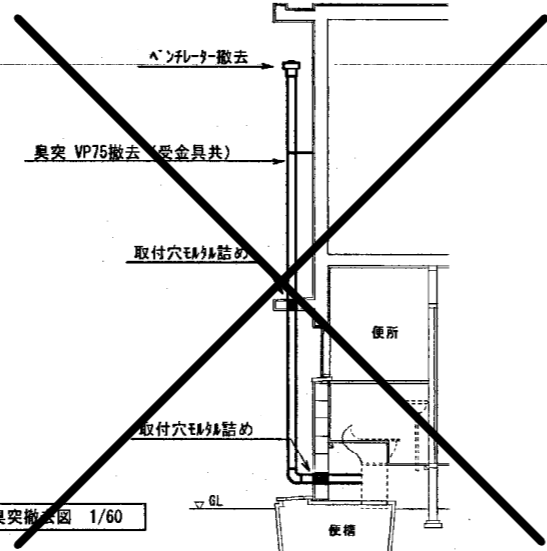


臭突撤去図 1/60

(第2工区)

(1種 2階建て)

13号~19号

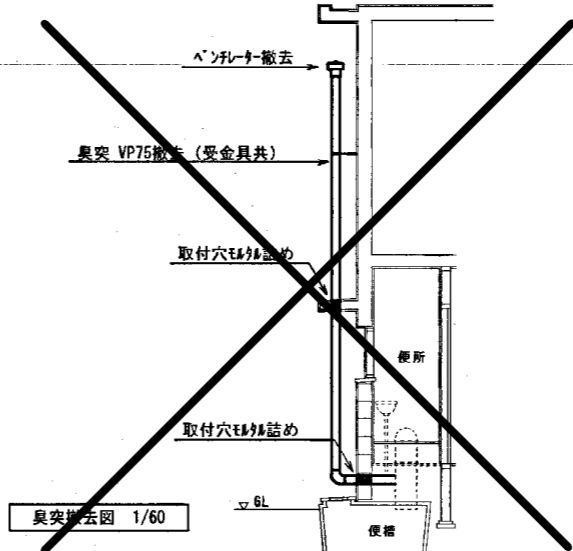


臭突撤去図 1/60

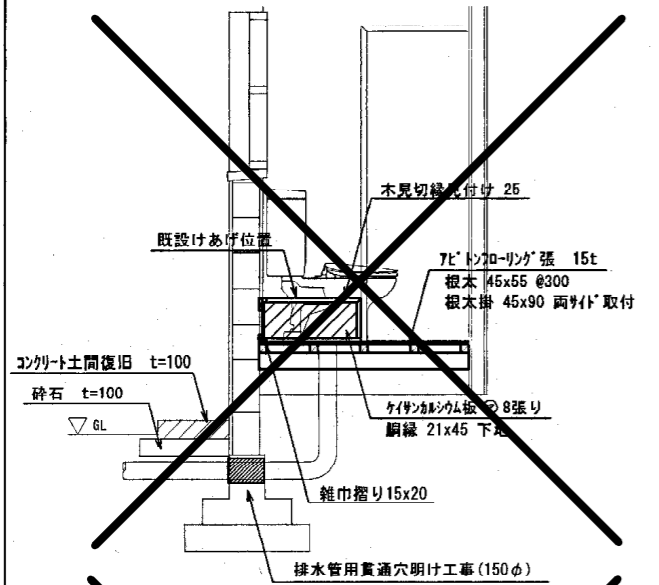
(第1工区)

(2種 2階建て)

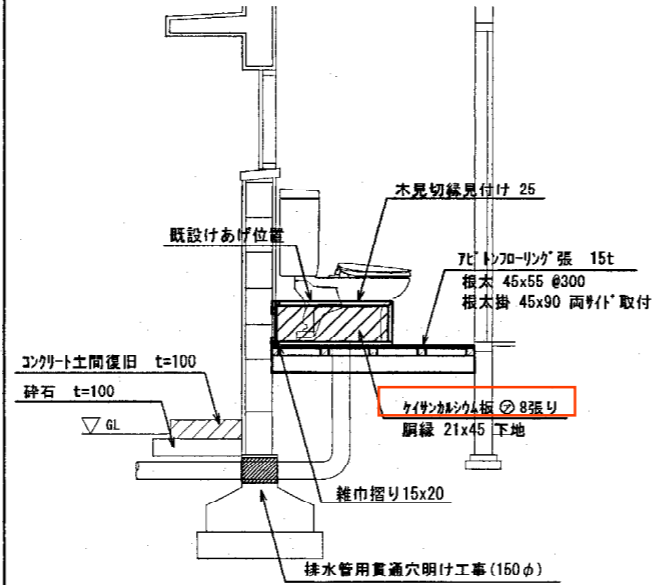
1号~10号



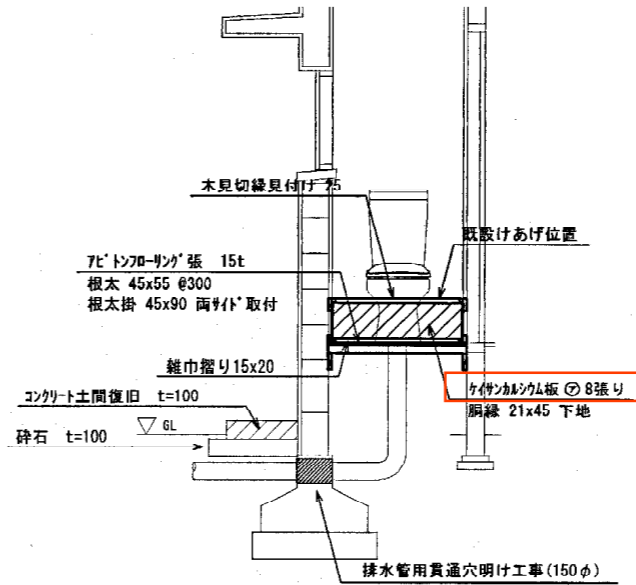
臭突撤去図 1/60



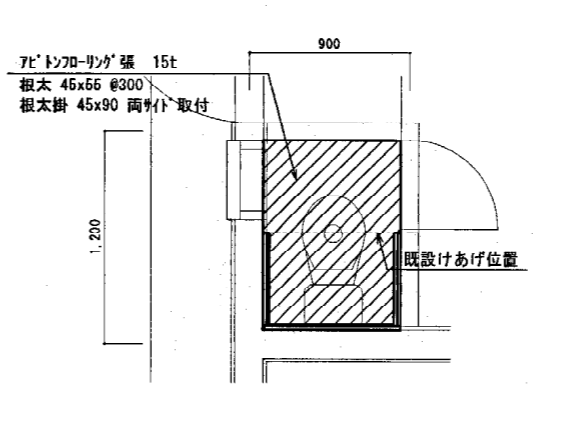
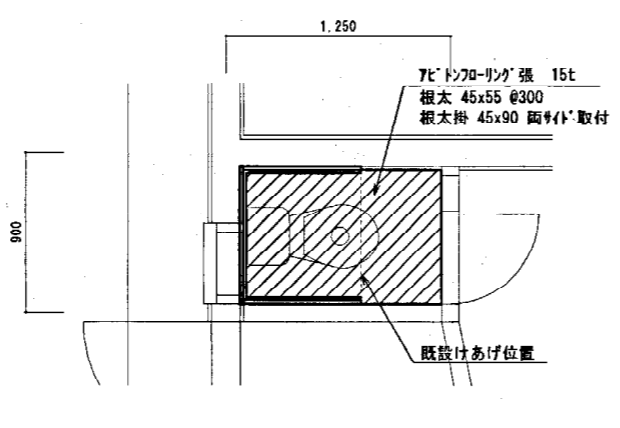
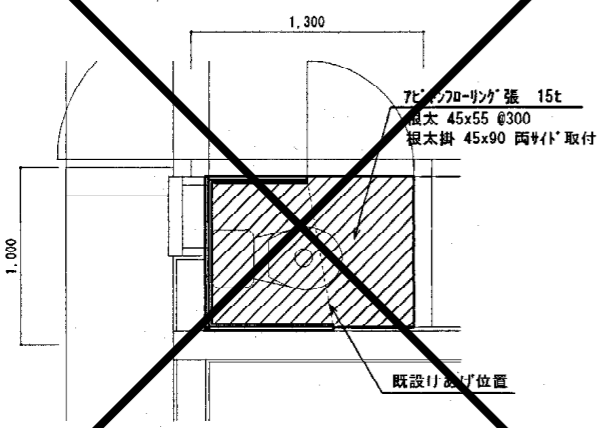
建築改修図 1/30



建築改修図 1/30



建築改修図 1/30



※赤枠:アスベスト含有建材(レベル3)

- (注記)
- ・既設便槽の汚水汲取、消毒、解体、便槽埋戻は別途工事
 - ・既設非水洗便器、手洗器の撤去は別途工事
 - ・便所の既設床の撤去は別途工事
 - ・新設床組は床表面を除いてケイソウ塗布のこと